

令和4年度 経営発達支援事業評価報告書

経営発達支援事業の評価結果について、次のとおり報告します。

項 目	商工会 評価	委員会 評価	コ メ ント
地域の経済動向調査に関する こと	A	A	データ収集、公表と目標達成は出来ているが、そのデータをどのように活用できるか課題が残っている。
需要動向調査に関すること	A	A	調査件数を達成しており、評価できる。 マーケティングを行うには需要動向調査は不可欠であり、事業者を意識を持ってもらう上でも継続的な実施をお願いしたい。
経営状況の分析に関すること	A	A	数値目標を達成しており、評価できる。 事業者ごとで経営状況や課題は様々であり、個別での専門家指導は有意義であり評価できる。
事業計画策定支援に関する こと	A	A	専門家指導は目標に達していないが、創業等計画策定2件は評価できる。 安定した経営を図る為には事業計画の有無が重要であり、事業者の意識づけに努めてほしい。
事業計画策定後の実施支援に 関すること	A	A	フォローアップ事業所数、延べ回数ともに数値目標を達成しており、評価できる。 実情に合わせた事業所の更なる支援をお願いしたい。
新たな需要の開拓に寄与する 事業に関すること	B	B	展示会売上、成約件数が目標に達しなかったが、外的要因が大きい。継続的に取り組むことが重要であり、個別の課題の応じた支援をお願いしたい。 需要動向調査のデータ反映をさせ、商品開発やサービス提供法へ反映させることが必要。
全体報告（総合評価）	A	A	全体的に効果的な事業実施がなされたと評価できる。数値目標に縛られず、地区内の各種機関との連携を充実させるなど事業者の課題解決に尽力し、着実な成果が得られることに期待する。

※評価の目安 A：目標を達成することができた。（100%） B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）